

株主のみなさまへ

第113期 報告書

平成 25 年 4 月 1 日 ▶ 平成 26 年 3 月 31 日



穀物ソリューション・カンパニー

日本をおいしくする

SHOWA 昭和産業株式会社

昭和産業は、

穀物ソリューション・カンパニー です。

昭和産業は、1936年の創業以来、小麦、大豆、菜種、トウモロコシなど大地の恵みである穀物から、小麦粉・天ぷら粉・食用油・ぶどう糖・畜産の飼料など、余すところなくおいしさをつくる材料にしてお届けしてまいりました。

穀物の海外調達のみならず、自社サイロでの保管も手がけることで、食品メーカーとして穀物の取扱量は日本一*を誇ります。

多種の穀物を多量に取扱うこの当社独自のビジネスモデルで、調達から生産・研究開発・販売など、あらゆる過程でそれらのシナジー効果を活かし、「食」に携わるさまざまな企業のみなさまや一般の消費者の方へ、課題の解決策をご提案しています。

私たちの独自性とありたい姿をブランドメッセージ「穀物ソリューション・カンパニー」に込め、食料の安定供給など、今後ますます高まる「食」への期待に、誇りと使命感をもって、これからもお客さまのニーズや課題に「おいしい答え＝ソリューション」をお届けしてまいります。

※当社調べ

代表取締役社長

岡田 茂





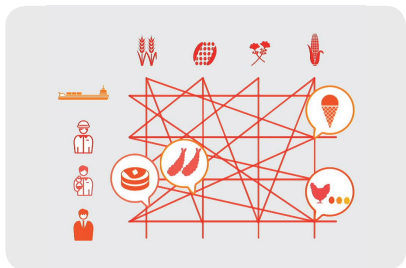
調達から保管まで、穀物の取扱量は食品メーカーとして日本一。

世界最大サイズの穀物船をはじめ、国内外から様々な船で昭和産業の工場に運ばれる多種多量の穀物を、サイロで保管した後、数々の製品に加工し、皆様へお届けしています。



多種多量の穀物を取扱う、 昭和産業ならではのシナジーソリューションをお届けします。

穀物を中心に事業を縦横無尽にめぐらせることで生まれる付加価値こそが、昭和産業ならではの穀物ソリューションです。



株主の皆様へ



代表取締役社長 岡田 茂

ご挨拶

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

第113期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の事業概況をご報告申し上げます。

当期の我が国経済は、政府のデフレ脱却に向けた財政・金融政策への期待感から景況感に改善の兆しは見られたものの、消費税増税に伴う消費低迷への懸念や海外景気の下振れリスクなど、景気は先行き不透明な厳しい状況が続いております。

食品業界におきましても、原料穀物相場はやや落ち着きを見せましたが、円安の影響もあり製造コストは高止まりし、さらに消費者の節約志向や低価格志向が継続するという厳しい環境にありました。また、食の安心・安全に対する消費者の関心はさらに高まり、取り組みの強化が求められております。

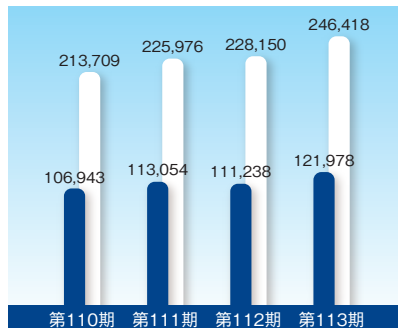
このような状況の中、当社グループは、社員一人ひとりが「穀物ソリューション・カンパニー」としての誇りと使命感をもって、「中期経営計画12-16」で掲げる課題の達成に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

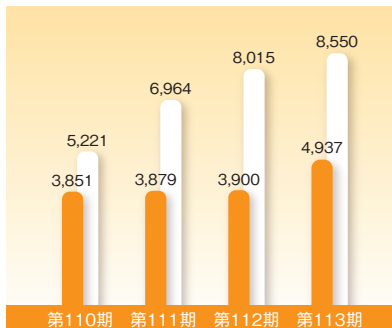
平成26年6月

連結業績の推移

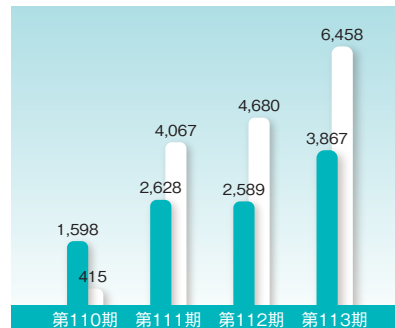
● 売上高 (百万円) □ 通期 ■ 上半期



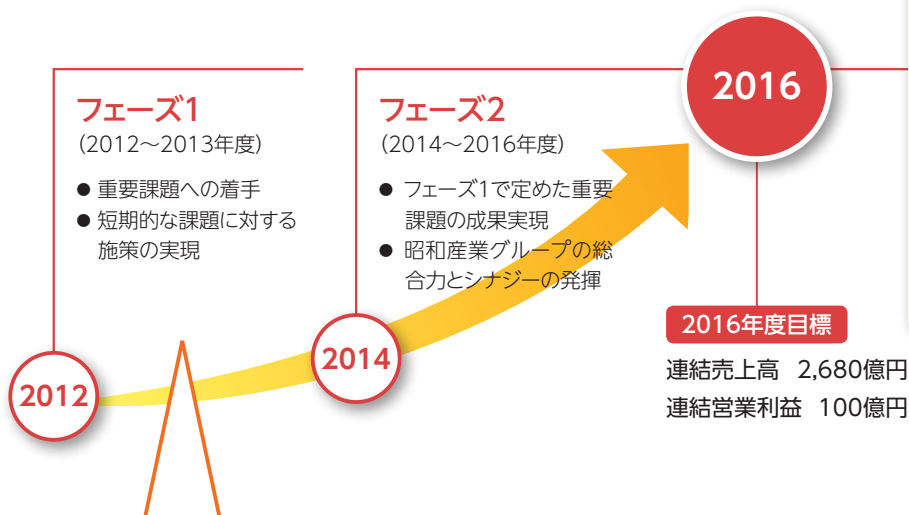
● 営業利益 (百万円) □ 通期 ■ 上半期



● 当期純利益 (百万円) □ 通期 ■ 上半期



中期経営計画12-16 (2012年4月1日～2017年3月31日)



基本戦略

- ① 基盤事業の持続的成長
- ② 新たな分野への挑戦
- ③ 海外事業の強化
- ④ 効率化の推進
- ⑤ グループ連携の強化
- ⑥ CSR経営の推進

フェーズ1の成果

○基盤事業の成長の実現

- 部門横断的戦略委員会による中長期プランの立案・実行
- 愛知県の製粉メーカーであるセントラル製粉(株)への資本参加

○企業ブランド戦略の再構築

○アジア地域への事業展開

- ベトナム最大手プレミックスメーカーであるインターミックス社への資本参加
- 大成昭和食品(天津)新工場稼働

○グループ全体での製品安全対策強化



セントラル製粉(株)



インターミックス社(ベトナム)

セグメント情報



製粉事業 売上高 602億76百万円 増収・増益

業務用小麦粉の販売数量につきましては、新製品の投入や提案型の営業活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、輸入小麦の政府売渡価格が平成25年4月に平均9.7%、同年10月に平均4.1%引き上げられたことを受け、小麦粉製品の価格改定を実施しました。



油脂事業 売上高 606億63百万円 増収・増益

業務用食用油の販売数量につきましては、新製品の投入や顧客ニーズを捉えた営業活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。業務用食材の販売数量につきましては、中食市場や外食市場などへの営業活動を強化したことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、原料穀物価格の影響により、前年同期を上回りました。



ぶどう糖事業 売上高 366億82百万円 増収・増益

糖化製品の販売数量につきましては、加工食品メーカー向けの販売数量が好調に推移したことなどにより、前年同期を上回りました。コーンスターチの販売数量につきましては、積極的な営業活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、原料穀物価格の影響により、前年同期を上回りました。



家庭用食品事業 売上高 225億16百万円 減収・減益

家庭用食用油の販売数量につきましては、消費低迷の影響などにより、前年同期を下回りました。家庭用プレミックスの販売数量につきましては、新製品の投入や消費者キャンペーンなど、積極的な販促活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、消費者の低価格志向の影響などにより、一部の製品では価格改定が進みませんでした。

飼料事業 売上高 612億31百万円 増収・増益

配合飼料の販売数量につきましては、養鶏用飼料の販売数量が増加したことにより、前年同期を上回りました。鶏卵の販売数量につきましては、積極的な営業活動を展開したことにより、前年同期を上回りました。配合飼料の販売価格につきましては、原料穀物価格の影響により、前年同期を上回りました。鶏卵の販売価格につきましては、鶏卵相場の上昇により、前年同期を上回りました。



倉庫事業

..... 売上高 27億80百万円 減収・増益

倉庫事業につきましては、貨物獲得競争が激化する中、商社や主要顧客との取り組みを強化し、荷役量の増加に努めましたが、積地における物流混乱の影響を受け、食糧小麦の荷役量が減少したことなどにより、売上高は前年同期を下回りました。

不動産事業

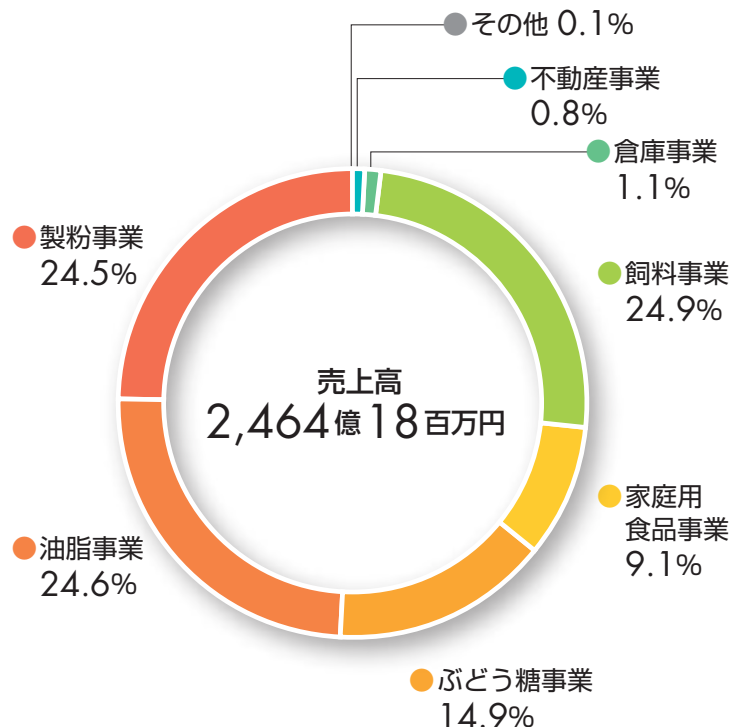
..... 売上高 20億8百万円 増収・増益

不動産事業につきましては、オフィス用賃貸ビルの賃料収入は一部テナントが退去したことにより、前年同期をやや下回りました。商業施設用ビルの賃料収入は平成25年4月からショーサン上尾ビル(埼玉県上尾市)の賃貸を開始したことにより、前年同期を上回りました。

その他

..... 売上高 2億58百万円 減収・減益

その他として、保険代理業、自動車等リース業、運輸事業等があります。



新製品の
ご紹介

家庭用製品



お釜にポン Q10

お茶碗1杯で **還元型** コエンザイム Q10 + ビタミン E

「**還元型** コエンザイム Q10」とは？

「還元型コエンザイム Q10」は、ヒトの生命活動に必要な細胞エネルギーを生成する上で欠かすことのできない成分で、活性酸素を除去する高い抗酸化作用により、体の錆を防ぐといわれています。「コエンザイム Q10」には【酸化型】と【還元型】の2種類があり、【還元型】は【酸化型】に比べて変換の必要がなく、そのまま体内で使われるため、よりダイレクトにその機能を発揮するといわれています。



- 炊飯時にポンと1粒入れるだけの炊飯用カプセルです。
- ふっくら、つややか、白米そのままの炊き上がり。
- 毎日の食事から気軽に「ビタミンE」と「還元型コエンザイム Q10」が摂取できます。

※お米1合に本品1粒を使用した場合、お茶碗1杯のごはん(150g)で「ビタミンE」(8mg)と「還元型コエンザイム Q10」(5mg)を同時に摂取することができます。

●商品に関するお問い合わせ先●
昭和産業(株)お客様相談センター
☎0120-325-706

受付時間：平日午前9時から午後5時まで

業務用製品

フライアドバンス 100

- あっさりとした軽い風味の菜種油と、作業性・加熱安定性に優れたパームオレインの特長を活かしたフライ専用のパーム調合油です。
- 長時間揚げ物をしてても粘度上昇が緩やかでべとつきにくく、また、加熱によって発生するにおいが少ないのが特長です。



業務用冷凍食品(昭和冷凍食品(株))



●ぶちもっちな(イチゴ)

もちもちした食感の生地に「とちおとめ」の果肉を含んだイチゴクリームを入れた焼き菓子です。



●ぶちもっちな(バナナ)

もちもちした食感の生地に完熟バナナのクリームを入れた焼き菓子です。

リニューアル



●業務用ラビオリ2

チーズとバジルを配合することで味の深みを出し、さらに風味豊かに仕上げました。

SHOWA
Frozen Foods

昭和冷凍食品(株)

025-362-5111

連結財務諸表

①総資産

売上債権の減少がありましたが、たな卸資産の増加、投資有価証券の増加、有形固定資産の増加などにより、前期末に比べ1,618百万円増加しております。

②負債

買掛債務の減少などにより、前期末に比べ1,477百万円減少しております。

③純資産

期末配当金の支払による減少、退職給付に係る調整累計額の計上による減少がありましたが、当期純利益の計上などにより、前期末に比べ3,096百万円増加しております。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期末 平成26年3月31日現在	前期末 平成25年3月31日現在
資産の部		
流動資産	69,655	70,004
固定資産	84,888	82,922
有形固定資産	65,489	64,326
無形固定資産	1,778	1,597
投資その他の資産	17,621	16,997
① 資産合計	154,544	152,926
負債の部		
流動負債	68,189	71,559
固定負債	24,638	22,745
② 負債合計	92,827	94,305
純資産の部		
株主資本	56,670	52,547
資本金	12,778	12,778
資本剰余金	4,710	4,710
利益剰余金	40,694	35,541
自己株式	△ 1,512	△ 481
その他の包括利益累計額	2,427	3,218
その他有価証券評価差額金	3,563	3,116
繰延ヘッジ損益	40	102
退職給付に係る調整累計額	—	△ 1,175
少数株主持分	2,619	2,854
③ 純資産合計	61,716	58,620
負債及び純資産合計	154,544	152,926

(百万円未満は切捨表示しております。)

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで	前期 平成24年4月 1日から 平成25年3月31日まで
売上高	246,418	228,150
売上原価	205,230	188,229
売上総利益	41,188	39,921
販売費及び一般管理費	32,637	31,905
営業利益	8,550	8,015
営業外収益	1,506	1,317
営業外費用	419	625
経常利益	9,638	8,707
特別利益	592	590
特別損失	747	1,511
税金等調整前当期純利益	9,482	7,786
法人税、住民税及び事業税	3,138	3,294
法人税等調整額	△ 269	△ 307
少数株主損益調整前当期純利益	6,613	4,799
少数株主利益	154	119
当期純利益	6,458	4,680

(百万円未満は切捨表示しております。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで	前期 平成24年4月 1日から 平成25年3月31日まで
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	10,926	9,877
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,432	△ 6,546
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,309	△ 3,380
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 815	△ 49
現金及び現金同等物の期首残高	2,473	2,523
現金及び現金同等物の期末残高	1,658	2,473

(百万円未満は切捨表示しております。)

④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益 9,482百万円、減価償却費 7,460百万円などによる資金の増加がありました。たな卸資産の増加に伴う支出や法人税等の支払などがあった結果、合計では10,926百万円の収入となりました。

⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に有形固定資産の取得で8,114百万円の資金を使用した結果、合計では9,432百万円の支出となりました。

⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

フリー・キャッシュ・フロー 1,493百万円を原資として、配当金 1,305百万円の支払や自己株式の取得による支出などを行った結果、2,309百万円の支出となりました。

連結株主資本等変動計算書 (当期 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
平成25年4月1日残高	12,778	4,710	35,541	△ 481	52,547	3,116	102	—	3,218	2,854	58,620
当連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△1,305		△1,305						△1,305
当期純利益			6,458		6,458						6,458
自己株式の取得				△1,030	△ 1,030						△ 1,030
株主資本以外の項目の 当連結会計年度中の変動額（純額）						446	△ 61	△1,175	△ 791	△ 234	△ 1,026
当連結会計年度中の変動額合計	—	—	5,152	△1,030	4,122	446	△ 61	△1,175	△ 791	△ 234	3,096
平成26年3月31日残高	12,778	4,710	40,694	△1,512	56,670	3,563	40	△1,175	2,427	2,619	61,716

(百万円未満は切捨表示しております。)

会社情報 (平成26年3月31日現在)

■ 会社概要

設立 昭和11年2月18日
資本金 12,778,008,177円
従業員数 1,111名
本社所在地 〒101-8521
東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル

■ 事業所

大阪支店／名古屋支店／仙台支店／札幌支店
福岡支店／広島支店／関東信越支店／千葉出張所
鹿島工場／神戸工場／船橋工場
総合研究所／商品開発センター

■ グループ会社

販売 ● 昭産商事(株)
食品生産 ● 奥本製粉(株)
● 木田製粉(株)
● (株)内外製粉
● 敷島スターチ(株)
● 昭和冷凍食品(株)
● (株)スウィングベーカリー
● (株)菜花堂
● (株)ファミリーフーズ
● 新日本化学工業(株)
● セントラル製粉(株)
外食 ● (株)オーバン
飼料生産 ● 九州昭和産業(株)
鶏卵販売 ● 昭和鶏卵(株)
倉庫 ● (株)ショウレイ
● 鹿島サイロ(株)
● 志布志サイロ(株)
不動産賃貸業 ● 昭産開発(株)
その他 ● (株)昭産ビジネスサービス
● 昭産運輸(株)
● 岡田運送(株)

● 連結子会社 ● 非連結子会社 ● 持分法適用会社

■ 役員 (平成26年6月27日現在)

取締役および監査役

取締役社長 (代表取締役)	岡 田 茂
専務取締役 (代表取締役)	佐久間 潤
専 務 取 締 役	新 妻 一 彦
常 務 取 締 役	中 村 圭 介
常 務 取 締 役	檜 前 慶 一
常 務 取 締 役	土 屋 信 人
常 務 取 締 役	玉 井 章
監 査 役 (常 勤)	笠 井 敏 雄
監 査 役 (常 勤)	石 黒 達 郎
監 査 役	今 井 信 義
監 査 役	佐 藤 宏

(注)今井信義、佐藤宏の両氏は会社法に定める社外監査役です。

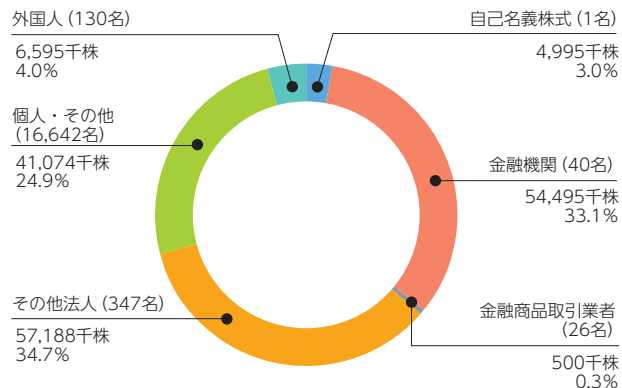
執行役員

常 務 執 行 役 員	田 村 英 雄
執 行 役 員	太 田 隆 行
執 行 役 員	八 木 隆
執 行 役 員	浅 井 満
執 行 役 員	大 柳 奨
執 行 役 員	杉 山 毅
執 行 役 員	金 子 俊 之
執 行 役 員	猪 野 浩
執 行 役 員	山 口 龍 也
執 行 役 員	国 領 順 二

■ 株式の状況

発行可能株式総数 720,000,000 株
発行済株式総数 164,849,898 株
株 主 数 17,186 名

■ 所有者別株式分布状況



■ 大株主(上位10名)

株 主 名	所有株数	出資比率
伊藤忠商事株式会社	12,700,000株	7.9%
株式会社千葉銀行	7,900,528	4.9
三井物産株式会社	7,700,000	4.8
日本興亜損害保険株式会社	6,981,501	4.4
ユアサ・フナシヨク株式会社	6,165,600	3.9
農林中央金庫	5,515,396	3.5
東京海上日動火災保険株式会社	5,169,328	3.2
双日株式会社	5,000,000	3.1
株式会社カーギルジャパン	4,701,000	2.9
昭和産業取引先持株会	4,543,000	2.8

(注) 1. 当社は、自己株式 4,995,198 株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 出資比率については、自己株式を控除して算出しております。

● 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月中

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.showa-sangyo.co.jp>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

基準日 3月31日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番地11号
0120-232-711 (通話料無料)

1単元の株式数 1,000株

昭和産業の考える CSR

昭和産業グループは「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」ことを通じて企業の社会的責任を果たしていきます

CSR行動規範②

公正な企業活動

公正で透明性の高い
企業経営を徹底します

- ①公正な市場取引
- ②適切な情報管理・知的財産権の保護
- ③反社会的勢力との関係遮断



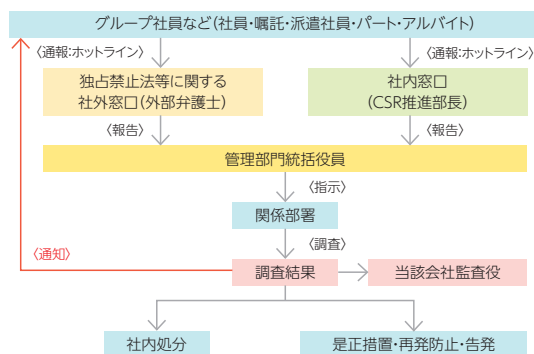
具体的な取り組み

●内部通報制度の整備

昭和産業は、コンプライアンス経営の強化の一環として、組織的または個人的な法令違反行為などに関する社員などからの相談・通報窓口（ホットライン）を設置しています。

法令違反行為の該当確認などについての相談および通報窓口をCSR推進部長とし、また、特に独占禁止法等に抵触する可能性の有る情報を知得した場合の通報窓口として、2013年10月1日から顧問弁護士による社外窓口を新設しました。

内部通報体制図



株主優待制度のお知らせ

当社では、株主様へのご優待サービスとして、
年1回、バラエティ豊かな家庭用製品の詰め合わせセットをお送りしております。
ご家庭の食卓で「日本をおいしくするSHOWA」の味をお楽しみください。



(5,000円相当の詰め合わせセット例)

5,000株以上
保有の株主様

当社家庭用製品 5,000円相当の
詰め合わせセットを贈呈

1,000株以上
5,000株未満
保有の株主様

当社家庭用製品 3,000円相当の
詰め合わせセットを贈呈



(3,000円相当の詰め合わせセット例)

- 基準日（3月31日）時点で、1,000株以上保有の株主様を対象に、自社製品を上記基準により贈呈いたします。
- お届けは毎年7月上旬になります。



おすすめレシピ

●鶏手羽中のテリヤキ風&根菜きんぴら

「肉の加熱」「根菜の下ごしらえ」がレンジで同時にできる時短メニュー。冷めてもおいしさそのままなので、おつまみやお弁当のおかずにもぴったり。

材料

1人分

鶏手羽中	3本(120g)
「レンジでチンする炙り風テリヤキ粉」	
大さじ2と1/2(20g)	
れんこん	50g
にんじん	20g
小ねぎの小口切り	1本分
①めんつゆ(2倍濃縮)	小さじ1/2
白いりごま	小さじ1/2
一味とうがらし(好みで)	少量

作り方

- ① れんこんとにんじんは皮をむき、2mm厚さの半月切りにして水にさらします。水けを軽くきって耐熱皿に平らに広げます。
- ② 鶏手羽中は水けをふいてビニール袋に入れ、「レンジでチンする炙り風テリヤキ粉」を加え、袋に空気を入れて口を絞って振り、粉をよくまぶします。
- ③ ①の上にキッチンペーパーを1枚広げ、そこに②を間をあけて並べ、残った粉を上につけ、電子レンジで加熱します(レンジ目安：600W 3分、500W 3分30秒)。加熱後すぐに鶏肉をペーパーからはずして器に盛ります。
- ④ ペーパーの下の方の根菜はボールに入れ、①を加えてあえます。鶏肉に添えて盛り、一味とうがらしをふります。

シェフのコツ▶▶

調理するコツは、①テリヤキ粉をまぶすときに「もみこまない」、②テリヤキ粉をまぶした肉は「すぐに加熱する」、③加熱後の肉はキッチンペーパーから「すぐにはずす」の3点です。



◀◀シェフのひと工夫

鶏手羽先や鶏もも肉、スベアリブ、ぶりなどでも、「レンジでチンする炙り風テリヤキ粉」を使うとテリヤキ風味のメニューが簡単に作れます。

昭和産業のホームページでは、SHOWAの製品を使って作るレシピを多数ご紹介しています。

<http://www.showa-sangyo.co.jp>

昭和産業株式会社

〒101-8521 東京都千代田区内神田二丁目2番1号 鎌倉河岸ビル
TEL.03 (3257) 2011 FAX.03 (3257) 2180

